



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング
 コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 八木 克己
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3639-9051

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,557	0.9	379	17.4	386	13.3	259	16.1
29年3月期第3四半期	4,516	△10.6	323	△0.5	340	2.3	223	5.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	58.07	—	—	—
29年3月期第3四半期	48.00	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年3月期第3四半期	5,498	2,941	2,941	2,854	53.5	50.6
29年3月期	5,636	2,854	2,854	2,854	50.6	50.6

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 2,941百万円 29年3月期 2,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	6,400	4.2	450	6.2	465	5.2	305	6.5	65.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	4,810,000 株	29年3月期	4,810,000 株
30年3月期3Q	385,169 株	29年3月期	153,938 株
30年3月期3Q	4,467,030 株	29年3月期3Q	4,656,137 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済環境は、政府の経済政策や日銀の金融政策により企業収益及び雇用・所得環境の改善がみられ好景況感が続いており、先行きにおいても更なる景気回復基調が期待されております。一方で、海外経済においても緩やかに回復しておりますが、米国をはじめとする海外の政策動向の不安定さや地政学的リスクの高まりに伴い、依然として先行きが不透明である状況は払拭できないままで推移しております。

当社を取巻く情報サービス産業におきましては、多様化するデジタル社会に向き合うための次世代ビジネスサービス提供がますます期待されております。また、顧客既存システムの維持・拡大に伴うサービス強化も求められ、技術者育成・確保のための適切なる施策が重要となってきております。

このような状況の中、当社は前期から継続しております顧客ニーズに沿った提案活動を実施し、資源の有効的活用を図り生産性を向上させ、併せて販売管理費等の費用削減に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,557百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益379百万円(前年同期比17.4%増)、経常利益386百万円(前年同期比13.3%増)、四半期純利益259百万円(前年同期比16.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ソフトウェア開発事業

ソフトウェア開発事業は、売上高4,465百万円(前年同期比0.8%増)、売上総利益708百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

② BPOエントリー事業

BPOエントリー事業(業務代行サービス)は、売上高92百万円(前年同期比5.4%増)、売上総損失1百万円(前年同期は売上総損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,368百万円(前事業年度末比195百万円の減少)となりました。主な要因は、売掛金及びその他に含めた繰延税金資産が減少したことによります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は1,129百万円(前事業年度末比57百万円の増加)となりました。主な要因は、繰延税金資産及び投資その他の資産に含めた投資有価証券が増加したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は5,498百万円(前事業年度末比138百万円の減少)となりました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は606百万円(前事業年度末比303百万円の減少)となりました。主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことによります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は1,950百万円(前事業年度末比78百万円の増加)となりました。これは退職給付引当金が増加したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は2,556百万円(前事業年度末比225百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,941百万円(前事業年度末比87百万円の増加)となりました。主な要因は、四半期純利益259百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金36百万円の増加があったものの、配当金の支払69百万円による利益剰余金の減少及び自己株式の取得139百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,690,075	3,643,380
売掛金	718,383	596,615
仕掛品	2,607	39,164
その他	153,002	89,192
流動資産合計	4,564,068	4,368,352
固定資産		
有形固定資産	187,939	179,340
無形固定資産	3,625	3,745
投資その他の資産		
繰延税金資産	543,428	551,290
その他	337,290	395,462
投資その他の資産合計	880,719	946,753
固定資産合計	1,072,284	1,129,838
資産合計	5,636,353	5,498,191
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,567	164,753
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	97,345	9,813
賞与引当金	343,027	144,152
その他	227,279	278,053
流動負債合計	910,220	606,772
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	1,810,958	1,889,213
固定負債合計	1,871,931	1,950,186
負債合計	2,782,151	2,556,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	1,885,717	2,075,291
自己株式	△61,168	△200,688
株主資本合計	3,008,749	3,058,803
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,831	61,806
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△154,547	△117,571
純資産合計	2,854,201	2,941,231
負債純資産合計	5,636,353	5,498,191

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,516,150	4,557,298
売上原価	3,873,763	3,849,630
売上総利益	642,386	707,668
販売費及び一般管理費	319,134	328,252
営業利益	323,252	379,416
営業外収益		
受取利息	631	369
受取配当金	3,792	4,213
受取家賃	1,395	1,395
受取手数料	646	675
受取保険金	10,875	—
雑収入	387	380
営業外収益合計	17,727	7,033
営業外費用		
支払利息	37	32
固定資産除却損	83	—
自己株式取得費用	—	278
営業外費用合計	121	311
経常利益	340,858	386,138
税引前四半期純利益	340,858	386,138
法人税、住民税及び事業税	67,072	72,515
法人税等調整額	50,282	54,208
法人税等合計	117,355	126,723
四半期純利益	223,503	259,414

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式231,200株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、単元未満株式の買取りによる取得も含めて自己株式が139,519千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が200,688千円となっております。